

チャットツール×生成AIによる「地域事業者伴走型」観光DX実証事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 福津市は、宮地嶽神社「光の道」や津屋崎千軒、玄海国定公園、かがみの海等の観光資源に恵まれた地域であり、ひかりのみちDMO福津を中心に、地域一体となった観光振興が進む地域である。
- ・ DMOが保有する観光データが内部で完結しており、事業者には十分届いていない。定型レポート中心の提供に留まり、個別課題への対応や、事業者の販売戦略に活用できるデータ提供が難しい状況にある。
- ・ 本事業では、チャットツールと生成AIを組み合わせた双方向のデータ流通基盤を構築し、事業者からの分析依頼にDMOが個別レポートで応える伴走支援の仕組みを整えることで、事業者の経営改善につなげる。
- ・ DMOが「定型レポート提供型」から「事業者伴走型」へ機能転換し、事業者の売上向上や経営改善に直結するデータ活用を地域全体で進め、DMOと事業者が一体で持続可能な観光地域づくりの実現を目指す。

事業概要

福津市において、人流データ・SNS・アンケート等を生成AIで分析し、改善提案付きレポートを返信する「地域データ流通基盤」を構築・実証する。分析結果を基に事業者に提案した周遊促進・売上向上等の施策の実行をDMOが伴走支援することで、DMOと事業者が一体となって地方誘客の促進に取り組む。

取組地域 : 福岡県福津市

コンソーシアム名 : 福津観光DX推進コンソーシアム

代表事業者 : 一般社団法人ひかりのみちDMO福津

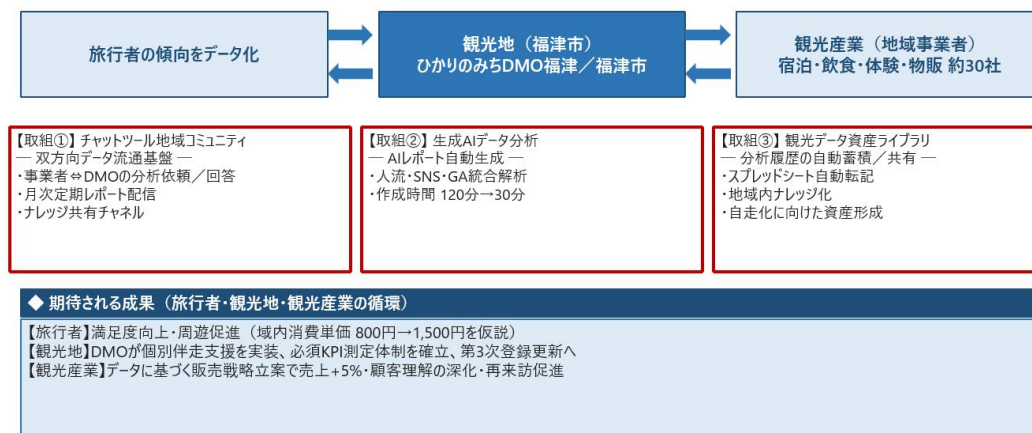
実証内容

1. チャットツール地域コミュニティによる双方向データ流通基盤の構築
2. 生成AIによるデータ分析・レポート自動化
3. 観光データ資産ライブラリの構築と地域共有

目標値

KGI 分析・提案を受けて実行し、売上向上につながった具体的な施策ユースケース創出数(20件)

KPI チャットツール参加(30社)



※赤字＝本実証事業で新規に実装する取組（取組①～③）